

1 基本情報

施設名称	大阪市立此花屋内プール
施設所管課・担当	環境局総務部施設管理課（担当：合尾・中嶋）
条例上の設置目的	廃棄物の焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを活用した水泳等の場を提供し、又は当該エネルギーの活用に関する知識の普及及び啓発を行うことにより、循環型社会の形成に関する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の健康を増進することを目的とする。（大阪市立プール条例）
業務の概要	当該プール施設の設置目的を踏まえるとともに、経営手法や人材、技術力等に民間のノウハウを活用した運営を図り、市民ニーズに対応できる施設運営を行う。
成果指標	利用者満足度
数値目標	80％以上
指定管理者名	公益財団法人 フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日（10年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	
数値目標	80％以上	
年度実績	96.0%	
達成率	120.0%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	82,434	57,953	24,481
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	58,181,000	65,817,165	0	
	計画	58,181,000	58,181,000		
利用料金（使用料）収入	実績	19,568,750	13,784,950	-1,581,250	令和6年度の改修工事に伴う臨時休館の影響が残り、計画通りの利用者数回復には至らず減
	計画	21,150,000	21,150,000		
自主事業収入	実績	42,176,798	28,189,900	6,176,798	計画策定時はコロナ禍であり現在人流が回復したことと、教室退会者を抑制する取組が功を奏したため増
	計画	36,000,000	36,000,000		
その他収入	実績	816,768	1,816,066	286,768	計画策定時から植栽剪定、メンテナンス委託費等が増加した結果、此花総合センタービル按分の受取負担金も増
	計画	530,000	530,000		
合計	実績	120,743,316	109,608,081	4,882,316	
	計画	115,861,000	115,861,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	45,266,749	45,439,162	-2,348,251	人員体制を見直したことによる減
	計画	47,615,000	46,281,000		
物件費	実績	29,157,553	20,508,967	-251,447	自力補修・修繕に努めたことで、マシン等の更新（リース費）を抑制できたため、事務費が減
	計画	29,409,000	29,419,000		
修繕費	実績	14,283,415	15,303,490	-546,585	定期的なメンテナンスと自力での補修に努めた結果修繕費を抑制できたことによる減
	計画	14,830,000	16,240,000		
自主事業支出	実績	9,654,763	7,403,605	-502,237	自主事業の実施体制を見直し、講師配置の適正化を図ったことによる指導委託費の減
	計画	10,157,000	10,071,000		
その他支出	実績	14,399,100	12,942,041	549,100	事業収入増加に伴う運営にかかる管理経費の増
	計画	13,850,000	13,850,000		
合計	実績	112,761,580	101,597,265	-3,099,420	
	計画	115,861,000	115,861,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	120.0%	S	アンケート結果（実施期間：令和7年10月1日～11月30日）

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費及び管理費の低減に向けた取組の実施	B	・効率的かつ適正な人員配置を行い、人件費の最適化を図った。 ・照明のLED化を実施している。 ・シャワーの水栓器具を自動止水タイプに交換、節水器具を設置するなど、水道使用量削減に努めている。 ・予防保全に基づくメンテナンス計画の策定及び巡回、保守業務の効率化により、維持管理費の最適化を図った。 ・設備や用具の定期的な点検により破損及び劣化を早期発見し、軽微な補修で対応した。 ・相見積もりを徹底し、適正価格での購入及び修繕を実施することで管理費の削減に努めた。 ・消耗品の在庫管理を徹底し、必要量に応じた購入とすることで経費の抑制を図った。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・各種法令を遵守しながら設備の維持管理に努め、市費の削減を意識しつつ早期の修繕対応を行っている。 ・安全管理、人権、接遇など各種研修に加えハラスメント研修や新人研修も行い、大阪市女性活躍リーディングカンパニー三つ星認証を受けるなど、職員が働きやすくなる環境を整えている。 ・車いすの定期点検を行い、パラスポーツ指導員を配置して障がいのある方を対象とした水泳教室を開催するなど、多様な人々の参画を意識した運営を行っている。
事業計画の実施状況	B	・キャッシュレス対応券売機の導入やジュニア教室での連絡アプリの導入といった利用者の利便性向上を図り、月曜日が祝日の場合やその振替休館日も開館するなど利用者拡充のための努力が認められる。 ・新たにAIによる姿勢分析アプリ「シセイカルテ」の導入を行うなど、自主事業についてもニーズや状況に応じた運営を行っている。 ・近隣幼稚園へ事業案内チラシの配付協力を仰いだり、近隣小学校へプール利用券の配付を行うなど、子どもの利用者獲得に向けての取組が見られる。 ・閑散期においては来館ポイントラリーを実施し、利用促進に努めている。
施設の有効利用	B	・大阪市震災総合訓練での連携、オータムチャレンジスポーツ、大阪市習い事・塾第助成事業や大阪市クーリングシェルター事業への参画など本市事業や取組への理解と協力が行われている。 ・近隣中学校から職場体験を受け入れたり近隣小学校区探検事業に参画するなど地域の子どもへの貢献が見られる。

社会的責任・市の施策との整合性	B	・ 館内照明器具のLED化、節水器具の設置、空調設備の一括管理により省エネルギー化に努めている。 ・ 電子データはVPNサーバー上で一元管理し事業所端末への保存を行わない、従業員のマイナンバーについては、本人および所長による直接確認後その場で封入のうえ金庫にて保管する、といった個人情報について厳格な管理を行っている。
-----------------	---	---

5 利用者ニーズ・満足度等

・ 令和7年10月1日から11月30日に利用者アンケートを実施し、利用者満足度96％と高評価であった。 ・ 各種研修の実施により、利用者サービスの向上に努めており、スタッフの対応についても満足度が高い。 ・ 意見箱の設置により利用者の声を収集するとともに、速やかに回答書を作成し館内掲示を行うことで、対応状況の可視化を行っている。 ・ 日常的な利用者とのコミュニケーションの中でニーズの把握に努め、意見や要望に対し迅速な対応を行っている。 ・ スタッフ間で要望・意見等の情報共有をしており、スタッフの対応についての利用者の満足度につながっている。
--

6 外部専門家意見

【外部専門家意見 1】 令和6年度の改修工事による臨時休館からの回復途上にある中、利用回復が着実に進んでいる点は評価できる。一方、利用料金収入は計画約2,115万円に対して約1,957万円と計画を下回っていることから、今後は単純な利用者数の回復だけでなく、利用者属性や利用頻度等を分析し、継続利用や収入につながる利用促進策を検討することが望まれる。 一方、事業収入は計画3,600万円に対して約4,218万円と大きく上回っており、教室事業等が施設経営を支える重要な収益源となっている。特に、欠席者へのフォローや教室参加者とのコミュニケーション強化によって退会抑制と在籍者数の維持・増加につなげている点は、利用者との継続的な関係形成という観点からも評価できる。 収支についても、収入約1億2,074万円に対し支出約1億1,276万円で、約798万円の収支差を確保している。 今後は、利用者数の回復を目標とする段階から、教室への入会率、継続率、退会率、一般利用から教室利用への移行等を把握し、「利用者を増やす」だけでなく「継続的に施設を利用する地域住民を増やす」運営に注力されることをを期待したい。 【外部専門家意見 2】 ・ 令和6年度の改修工事期間の影響が残るなかで、利用者の回復を図り、利用者満足度も96％と高水準である点は高く評価できる。 ・ 光熱水費の高騰の中で、内部の人員配置の見直しや自力で補修・修繕を行う等、積極的に経費削減に努め、ほぼ計画通りの支出に抑えていることも評価できる。 ・ 事業遂行にあたっては、長期に渡る指定の中で安定的な運営が行われている。その一方で、社会状況やそれに伴う利用者ニーズを的確に把握し、見直しを図るなどしながら今後も様々な事業に取り組まれない。 ・ 施設管理の側面（修繕等）については、今後も精査を行いながら積極的に取り組まれ、施設の維持管理と長命化に努められたい。 ・ 1日あたりのプール利用者数は減少傾向だが、近隣小学校への利用促進活動の結果、子どもの利用者数が増加している点は評価できる。今後も近隣小学校や地域の方に向けて、周知活動・利用促進活動に努め、安定的な利用者確保に取り組んでいただきたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	・利用者満足度80%以上の目標を大幅に上回った。
市費の縮減	B	・適切で効率的な人員配置や省エネの取組により人件費や光熱水費の縮減が図られている。 ・修繕箇所への早期発見、効率的な修繕計画、相見積もりの徹底などにより管理費の削減に努められている。
管理運営の履行状況	B	・キャッシュレス券売機やアプリの導入など利用者の利便性を重視した取組が評価できる。 ・自主事業に当たっては安定的に実施され、多くの年齢層からの参加がなされている。パラスポーツの普及にも尽力しており、ニーズに応じた事業運営が行われている。 ・大阪市事業への積極的な参加や近隣学校との連携など地域への貢献もなされており、本市施設としての役割を理解し、求められる水準の対応が行われている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・事業計画及び本市の求める水準どおりの効果が得られている。

1 基本情報

施設名称	大阪市立西淀川屋内プール
施設所管課・担当	環境局総務部施設管理課（担当：合尾・中嶋）
条例上の設置目的	廃棄物の焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを活用した水泳等の場を提供し、又は当該エネルギーの活用に関する知識の普及及び啓発を行うことにより、循環型社会の形成に関する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の健康を増進することを目的とする。（大阪市立プール条例）
業務の概要	当該プール施設の設置目的を踏まえるとともに、経営手法や人材、技術力等に民間のノウハウを活用した運営を図り、市民ニーズに対応できる施設運営を行う。
成果指標	利用者満足度
数値目標	80％以上
指定管理者名	公益財団法人 フィットネス２１事業団
指定期間	令和６年４月１日～令和16年３月31日（10年間）
評価対象期間	令和7年４月１日～令和8年３月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	
数値目標	80％以上	
年度実績	84.0%	
達成率	105.0%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	68,609	86,394	-17,785
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	58,961,500	49,624,000	9,337,500	大規模改修工事に伴う休館にかかる休業補償による増
	計画	49,624,000	49,624,000		
利用料金（使用料）収入	実績	18,026,760	22,717,070	-3,873,240	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	21,900,000	21,900,000		
自主事業収入	実績	29,425,590	38,240,604	-6,584,410	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	36,010,000	36,010,000		
その他収入	実績	8,078,428	3,465,950	4,558,428	プール全面塗装塗替修繕に伴う清算金による増
	計画	3,520,000	3,520,000		
合計	実績	114,492,278	114,047,624	3,438,278	
	計画	111,054,000	111,054,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	45,488,445	43,941,785	-1,286,555	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	46,775,000	45,441,000		
物件費	実績	21,207,400	23,545,808	-5,620,600	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	26,828,000	26,822,000		
修繕費	実績	19,493,874	15,589,746	6,243,874	大規模改修工事に伴う休館の際に各所の修繕や設備更新を図ったための増
	計画	13,250,000	14,670,000		
自主事業支出	実績	9,770,357	12,070,025	-1,520,643	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	11,291,000	11,211,000		
その他支出	実績	12,987,900	13,302,487	77,900	事業収入増加に伴う運営にかかる管理経費の増
	計画	12,910,000	12,910,000		
合計	実績	108,947,976	108,449,851	-2,106,024	
	計画	111,054,000	111,054,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.0%	B	アンケート結果（実施期間：令和7年10月1日～10月31日）

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費及び管理費の低減に向けた取組の実施	B	・効率的かつ適正な人員配置を行い、人件費の最適化を図った。 ・照明のLED化を実施している。 ・シャワーの水栓器具を自動止水タイプに交換、節水器具を設置するなど、水道使用量削減に努めている。 ・予防保全に基づくメンテナンス計画の策定及び巡回・保守業務の効率化により、維持管理費の最適化を図った。 ・設備や用具の定期的な点検により破損及び劣化を早期発見し、軽微な補修で対応した。 ・相見積もりを徹底し、適正価格での購入及び修繕を実施することで管理費の削減に努めた。 ・消耗品の在庫管理を徹底し、必要量に応じた購入とすることで経費の抑制を図った。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・各種法令を遵守しながら設備の維持管理に努め、市費の削減を意識しつつ早期の修繕対応を行っている。 ・安全管理、人権、接遇など各種研修に加えハラスメント研修も行い、大阪市女性活躍リーディングカンパニー三つ星認証を受けるなど、職員が働きやすくなる環境を整えている。 ・車いすの定期点検を行い、パラスポーツ指導員を配置して障がいのある方を対象とした水泳教室を開催するなど、多様な人々の参画を意識した運営を行っている。
事業計画の実施状況	B	・キャッシュレス対応券売機の導入やジュニア教室での連絡アプリの導入といった利用者の利便性向上を図り、月曜日が祝日の場合やその振替休館日も開館するなど利用者拡充のための努力が認められる。 ・新たにAIによる姿勢分析アプリ「シセイカルテ」の導入を行うなど、自主事業についてもニーズや状況に応じた運営を行っている。 ・近隣小学校へ事業案内ポスターを掲示したり、プール利用券の配付を行うなど、子どもの利用者獲得に向けての取組が見られる。 ・大規模改修工事に伴い、タイルカーペットやプール塗装塗替、マシン更新など利用環境の整備に努めた。 ・2月に3万部のポスティングを行い、周知拡大を図った。

	施設の有効利用	B	・大阪市震災総合訓練での連携、オータムチャレンジスポーツ、大阪市習い事・塾第助成事業や大阪市クーリングシェルター事業への参画など本市事業や取組への理解と協力が行われている。 ・近隣小学校のまちたんけん学習の受入や子ども・子育て応援団体への寄付機能を有する自動販売機の設置など地域の子どもへの貢献が見られる。 ・外国語案内やピクトグラムを活用し、外国人利用者を受け入れるための環境整備を図っている。
	社会的責任・市の施策との整合性	B	・館内照明器具のLED化、節水器具の設置、空調設備の一括管理により省エネルギー化に努めている。 ・電子データはVPNサーバー上で一元管理し事業所端末への保存を行わない、従業員のマイナンバーについては、本人および所長による直接確認後その場で封入のうえ金庫にて保管する、といった個人情報について厳格な管理を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・令和7年10月1日から10月31日に利用者アンケートを実施し、利用者満足度84％と目標を達成できている。
- ・各種研修の実施により、利用者サービスの向上に努めており、スタッフの対応についても満足度が高い。
- ・意見箱の設置により利用者の声を収集するとともに、速やかに回答書を作成し館内掲示を行うことで、対応状況の可視化を行っている。
- ・日常的な利用者とのコミュニケーションの中でニーズの把握に努め、意見や要望に対し迅速な対応を行っている。
- ・スタッフ間で要望・意見等の情報共有をしており、スタッフの対応についての利用者の満足度につながっている。

6 外部専門家意見

【外部専門家意見1】

改修工事に伴う臨時休館があり、年間総利用者数は68,609人と前年度から17,785人減少している。したがって、単年度の利用者数のみで事業成果を評価することは適切ではなく、改修後の利用回復状況を次年度以降継続的に検証する必要がある。

トレーニングマシン15台の更新、床面改修、25mプール及び幼児プールの全面塗装、レーンロープ、採暖室、ロビー設備等の更新が行われており、施設環境の大幅な改善が図られている。今後は、これらの設備投資が利用者数、新規利用者数、利用頻度、満足度等へのどの程度寄与したのかを検証することが重要である。

利用者満足度は84.0％と目標を達成しており、改修工事による休館がある中でも一定のサービス水準を維持した点は評価できる。また、地域広報誌、Instagram、周辺地域への3万部のポスティング、区役所や地域団体との連携など、多様なチャネルによる利用促進策を展開している点も評価できる。

収支面では、収入約1億1,449万円に対し支出約1億894万円となり、約554万円の収支差を確保している。ただし、利用料金収入及び事業収入は改修休館の影響を受けているため、令和7年度の収支のみをもって経営性を評価するのではなく、改修後の利用回復と収益構造の変化を複数年度で評価する必要がある。

次年度は、改修前後の比較を行い、プール、トレーニング場、教室それぞれについて、新規利用者数、再来館率、教室入会率、利用者属性等を把握することが望まれる。施設改修を単なる老朽化対策にとどめず、新たな利用者層の獲得や利用頻度の向上につなげる「投資効果」の検証を期待したい。

【外部専門家意見2】

・大規模改修工事期間の影響で利用者の減が認められるが、利用者満足度を達成できている。また、1日あたりの利用者数も増加傾向にあり、プールの一回券購入者は前年度との割合で比較すると全区分で増加している。

・大規模改修工事に伴い、積極的に機器の更新や修繕を行っており、結果的に修繕費は増大したものの今後の利用者増へつなげようと努力されていることが評価できる。

・事業遂行にあたっては、長期に渡る指定の中で安定的な運営が行われている。その一方で、社会状況やそれに伴う利用者ニーズを的確に把握し、見直しを図るなどしながら今後も様々な事業に取り組まれない。

・施設管理の側面（修繕等）については、今後も精査を行いながら積極的に取り組まれ、施設の維持管理と長命化に努められたい。

・収支状況に関しては、改修工事の影響から、収入は実績が計画を上回り、支出は実績が計画を下回った結果、黒字となっている。当年度は休業期間が発生した影響か、特にトレーニング場で若年層の回数券・定期券購入の減少が著しいが、次年度以降は通常営業に戻ると考えられるため、より安定した利用者確保に尽力していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・利用者満足度80%以上の目標を上回った。
市費の縮減	B	・適切で効率的な人員配置や省エネの取組により人件費や光熱水費の縮減が図られている。 ・修繕箇所への早期発見、効率的な修繕計画、相見積もりの徹底などにより管理費の削減に努められている。
管理運営の履行状況	B	・キャッシュレス券売機やアプリの導入など利用者の利便性を重視した取組が評価できる。 ・自主事業に当たっては安定的に実施され、多くの年齢層からの参加がなされている。パラスポーツの普及にも尽力しており、ニーズに応じた事業運営が行われている。 ・大阪市事業への積極的な参加や近隣学校との連携など地域への貢献もなされており、本市施設としての役割を理解し、求められる水準の対応が行われている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・事業計画及び本市の求める水準ごおりの効果が得られている。

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江屋内プール
施設所管課・担当	環境局総務部施設管理課（担当：合尾・中嶋）
条例上の設置目的	廃棄物の焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを活用した水泳等の場を提供し、又は当該エネルギーの活用に関する知識の普及及び啓発を行うことにより、循環型社会の形成に関する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の健康を増進することを目的とする。（大阪市立プール条例）
業務の概要	当該プール施設の設置目的を踏まえるとともに、経営手法や人材、技術力等に民間のノウハウを活用した運営を図り、市民ニーズに対応できる施設運営を行う。
成果指標	利用者満足度
数値目標	80％以上
指定管理者名	公益財団法人 フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日（10年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	
数値目標	80％以上	
年度実績	90.0%	
達成率	112.5%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	56,060	63,640	-7,580
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	52,243,005	49,402,000	2,841,005	大規模改修工事に伴う休館にかかる休業補償による増
	計画	49,402,000	49,402,000		
利用料金（使用料）収入	実績	16,649,130	17,929,252	-123,870	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	16,773,000	16,773,000		
自主事業収入	実績	25,790,851	28,538,944	-255,149	大規模改修工事に伴う休館による減
	計画	26,046,000	26,046,000		
その他収入	実績	0	48	0	
	計画	0	0		
合計	実績	94,682,986	95,870,244	2,461,986	
	計画	92,221,000	92,221,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	41,119,075	42,537,584	2,187,075	年度途中に育児休業を取得予定の職員がおり、業務の円滑な引継ぎ及び運営体制の維持を図るため、年度当初から増員配置を行ったことから人件費が増
	計画	38,932,000	37,871,000		
物件費	実績	21,193,884	22,366,740	166,884	事業運営の充実に向けた環境整備による増
	計画	21,027,000	21,021,000		
修繕費	実績	11,635,157	10,821,782	-2,384,843	定期的なメンテナンスと自力での補修に努めた結果修繕費を抑制できたことによる減
	計画	14,020,000	15,110,000		
自主事業支出	実績	7,476,826	7,737,382	304,826	計画を上回る教室事業を実施したことによる賃借料の増
	計画	7,172,000	7,149,000		
その他支出	実績	11,361,900	11,504,429	291,900	事業収入増加に伴う運営にかかる管理経費の増
	計画	11,070,000	11,070,000		
合計	実績	92,786,842	94,967,917	565,842	
	計画	92,221,000	92,221,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	112.5%	A	アンケート結果（実施期間：令和7年10月1日～10月31日）

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費及び管理費の低減に向けた取組の実施	B	・効率的かつ適正な人員配置を行い、人件費の最適化を図った。 ・照明のLED化を実施している。 ・シャワーの水栓器具を自動止水タイプに交換、節水器具を設置するなど、水道使用量削減に努めている。 ・予防保全に基づくメンテナンス計画の策定及び巡回・保守業務の効率化により、維持管理費の最適化を図った。 ・設備や用具の定期的な点検により破損及び劣化を早期発見し、軽微な補修で対応した。 ・相見積もりを徹底し、適正価格での購入及び修繕を実施することで管理費の削減に努めた。 ・消耗品の在庫管理を徹底し、必要量に応じた購入とすることで経費の抑制を図った。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・各種法令を遵守しながら設備の維持管理に努め、市費の削減を意識しつつ早期の修繕対応を行っている。 ・安全管理、人権、接遇など各種研修に加えハラスメント研修も行い、大阪市女性活躍リーディングカンパニー三つ星認証を受けるなど、職員が働きやすくなる環境を整えている。 ・車いすの定期点検を行い、パラスポーツ指導員を配置して障がいのある方を対象とした水泳教室を開催するなど、多様な人々の参画を意識した運営を行っている。
事業計画の実施状況	B	・キャッシュレス対応券売機の導入やジュニア教室での連絡アプリの導入といった利用者の利便性向上を図り、月曜日が祝日の場合やその振替休館日も開館するなど利用者拡充のための努力が認められる。 ・新たにAIによる姿勢分析アプリ「シセイカルテ」の導入を行うなど、自主事業についてもニーズや状況に応じた運営を行っている。 ・4月と2月に3万部のポスティングを行い、周知拡大を図った。
施設の有効利用	B	・大阪市震災総合訓練での連携、オータムチャレンジスポーツ、大阪市習い事・塾第助成事業や大阪市クーリングシェルター事業への参画に加え、住之江区防災パートナー制度への登録するなど本市事業や取組への理解と協力が行われている。 ・近隣中学校の職場体験や子ども・若者チャレンジ応援自動販売機の設置など地域の子どもの貢献が見られる。 ・南大阪朝鮮初級学校で水泳指導を実施している。

社会的責任・市の施策との整合性	B	・ 館内照明器具のLED化、節水器具の設置、空調設備の一括管理により省エネルギー化に努めている。 ・ 電子データはVPNサーバー上で一元管理し事業所端末への保存を行わない、従業員のマイナンバーについては、本人および所長による直接確認後その場で封入のうえ金庫にて保管する、といった個人情報について厳格な管理を行っている。
-----------------	---	---

5 利用者ニーズ・満足度等

・ 令和7年10月1日から10月31日に利用者アンケートを実施し、利用者満足度90％と目標を達成できている。 ・ 各種研修の実施により、利用者サービスの向上に努めており、スタッフの対応についても満足度が高い。 ・ 意見箱の設置により利用者の声を収集するとともに、速やかに回答書を作成し館内掲示を行うことで、対応状況の可視化を行っている。 ・ 日常的な利用者とのコミュニケーションの中でニーズの把握に努め、意見や要望に対し迅速な対応を行っている。 ・ スタッフ間で要望・意見等の情報共有をしており、スタッフの対応についての利用者の満足度につながっている。

6 外部専門家意見

【外部専門家意見 1】 給水設備改修工事に伴う臨時休館があり、年間総利用者数は56,060人と前年度から7,580人減少した。しかし、休館による影響がある中でも安定的な運営を継続し、利用者満足度90.0％を確保している点は評価できる。 利用者構成を見ると、高齢者26,845人が最も多く、障がい者4,689人、介護者408人など、多様な利用者を受け入れている。また、障がい児・障がい者を対象とした水泳教室、学校体育水泳指導、水難防止指導など、一般的な施設利用にとどまらない公共的機能を担っている点は高く評価できる。 収支についても、収入約9,468万円に対し支出約9,279万円で、約190万円の収支差を確保している。 一方、事業収入は計画約2,605万円に対して約2,579万円とほぼ計画水準であり、利用料金収入についても計画比99.3％となっていることから、改修による休館の影響を受けながらも比較的安定した収入構造を維持している。 今後は、単なる利用者数や収支だけではなく、高齢者、障がい者、子どもなど、多様な市民に対してスポーツ・運動機会を提供している公共的価値を評価する視点が重要である。例えば、高齢者利用が多い施設特性を踏まえ、健康づくりや介護予防との連携についても今後の展開可能性を検討してもよいのではないだろうか。 【外部専門家意見 2】 ・ 4 月 5 月の工事期間の影響で利用者の減が認められるが、利用者満足度を達成できている。 ・ 広報に力を入れており、閑散期や人の人の移動の時期にポスティングを行い周知拡大と利用促進に努めていることが評価できる。 ・ 事業遂行にあたっては、長期に渡る指定の中で安定的な運営が行われている。その一方で、社会状況やそれに伴う利用者ニーズを的確に把握し、見直しを図るなどしながら今後も様々な事業に取り組まれない。 ・ 施設管理の側面（修繕等）については、今後も精査を行いながら積極的に取り組まれ、施設の維持管理と長命化に努められたい。 ・ 利用料金収入については、一日あたりの利用者数は前年度と変わらないが、子どもと大人は1 回券購入者が増加し、回数券購入者は減少傾向にある。大規模改修工事の影響による減少だと考えられるが、次年度以降も安定した利用者数を確保し、回数券・定期券購入に繋がる利用促進活動に尽力していただきたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・利用者満足度80％以上の目標を大きく上回った。
市費の縮減	B	・適切で効率的な人員配置や省エネの取組により人件費や光熱水費の縮減が図られている。 ・修繕箇所への早期発見、効率的な修繕計画、相見積もりの徹底などにより管理費の削減に努められている。
管理運営の履行状況	B	・キャッシュレス券売機やアプリの導入など利用者の利便性を重視した取組が評価できる。 ・自主事業に当たっては安定的に実施され、多くの年齢層からの参加がなされている。パラスポーツの普及にも尽力しており、ニーズに応じた事業運営が行われている。 ・大阪市事業への積極的な参加や近隣学校との連携など地域への貢献もなされており、本市施設としての役割を理解し、求められる水準の対応が行われている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・事業計画及び本市の求める水準どおりの効果が得られている。